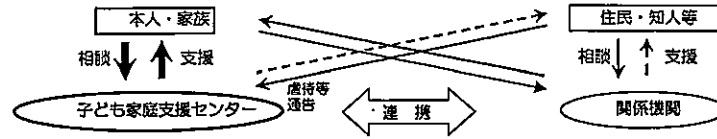
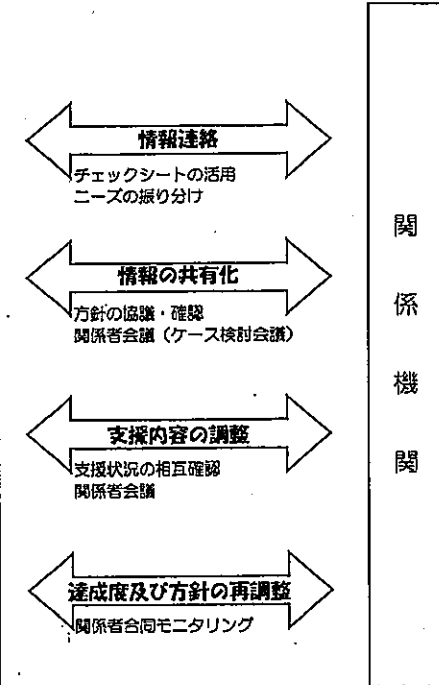


○子ども家庭支援センターを中心としたケースマネジメントの流れ



| ケースマネジメントの流れ | 活動の内容 |
|--|---|
| ① インテーク (P.15参照) ニーズの発見と把握 ★ 関係機関からの相談、通告はチェックシート等を活用 | ○来所、電話、訪問、メール等での受付 ○相談記録の作成 |
| ② スタッフミーティング (愛理会議) (P.15参照) センター内の情報の共有と方向性、緊急性、重症度の確認 ★ アセスメントシートの活用 | ○面接・電話での聞き取りや家庭訪問によるニーズのリストアップ ○現地調査、事実確認（複数での職員で対応） ○地域、関係機関からの情報収集（チェックシートの活用） ○ニーズの整理 |
| ③ アセスメント (P.16参照) ニーズの分析 ★ 状況等により児童相談所へ連絡・送致 | ・ニーズは何か ・ニーズに対する解決能力の明確化（相談者、相談対象者、地域、関係機関） ・利用できる社会資源の検討 |
| ④ 支援計画の検討・作成 (P.17参照) 方針、目標及び内容の検討、決定 ★ 支援計画の作成 | ○支援目標の設定（短期、長期） ○支援内容の決定 ・どの機関（援助者）が、「いつ」「どこで」「どのような」支援を「どのくらい」行っていか |
| ⑤ 支援の実施・介入・調整 (P.17参照) 援助の実施 ★ サービスの調整、提供機関との連携 ★ 子ども家庭支援のネットワークの構築、運営 ★ ケース情報の管理 | ○在宅サービス等の提供、他のサービス等との組み合わせ等、他の提供機関との連携・調整 ○相談者や相談対象者に助言、情報提供 |
| ⑥ 支援計画の検証・評価 (モニタリング) (P.18参照) 支援計画の達成度の確認 [計画自体の適切性、実行度、サービス提供の適切性、サービス結果の判定、当事者の満足度等] | ○支援計画が実行されているかを点検 ○新たな問題や残されたニーズについて再調査を行い、支援計画の見直しを行う。 |
| ⑦ 再アセスメント (P.18参照) ニーズの再調査 再支援計画見直しの必要性の判断 状況の継続的確認 | ○支援の方向性の時点から見直し評価する。 |
| ⑧ 終了 終結、事後評価 | ○記録の整理、保存方法、期間の確認 |

※必要に応じてケースマネジメントのプロセスが繰り返される。



＜参考＞
 ★「支援」とは、本来ある力を発揮できるように支えること。
 ★「援助」とは、不足しているものを補い助けること。